

様式第1号（第3条、第5条関係）

地球温暖化対策計画 作成 報告書 (義務)

平成27年9月25日

(あて先)
埼玉県知事

提出者 北海道札幌市北区新琴似7条1丁目2番39号
株式会社ニトリ
代表取締役社長 白井 俊之 印
〔 個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印） 〕
011-330-6200

平成 27 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化
対策推進条例 第 1 2 条 第 1 項 前段 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	その他の小売業	番 号	60
燃 料 等 使 用 量 (店 舗 面 積)	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量 4,002 kL/年 (大規模小売店舗の場合は、店舗面積 m ²)		
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日		
	変 更 の 理 由		
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第 号該当		
連 絡 先	所 属 部 署 職 ・ 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考			

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線
線で消すことにより特定すること。
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省
告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番

地球温暖化対策実施状況報告書

平成27年9月25日

(あて先)
埼玉県知事

提出者 北海道札幌市北区新琴似7条1丁目2番39号
株式会社ニトリ
代表取締役社長 白井 俊之 印
〔 個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印） 〕
011-330-6200

平成 26 年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	その他の小売業	番 号	60
燃料等使用量の 原油換算合計量	4,002		kℓ/年
温室効果ガス (CO ₂ 換算)総排出量	6,286		t-CO ₂ /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関する 措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況 報告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第37条第2項に該当の有無		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
連 絡 先	所 属 部 署 職 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※備 考			

- 注 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
2 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。

平成 27 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社ニトリ	
所在地	北海道札幌市北区新琴似7条1丁目2番39号	
事業者番号	2018	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	4,002	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500kL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	その他の小売業	
分類番号 (中分類)	60	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	【事業内容】 家具・インテリア用品の企画・販売、新築住宅のコーディネート、海外輸入品・海外開発商品の販売事業 【従業員数】 2,908人（ほか平均臨時雇用者8,006人） （平成27年2月20日現在） 【資本金】 1,000百万円 （平成27年2月20日現在）	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
1500kL未満の事業所の合算 (A事業所)		
201800		4,002
単独で1500kL以上の事業所 (B事業所・C事業所)		
合計		4,002

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.nitori.co.jp/about us/ecology/
<input type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
	所在地 1	
	閲覧可能時間 1	
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 総合企画室	03-6741-1231	03-6741-1281	
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

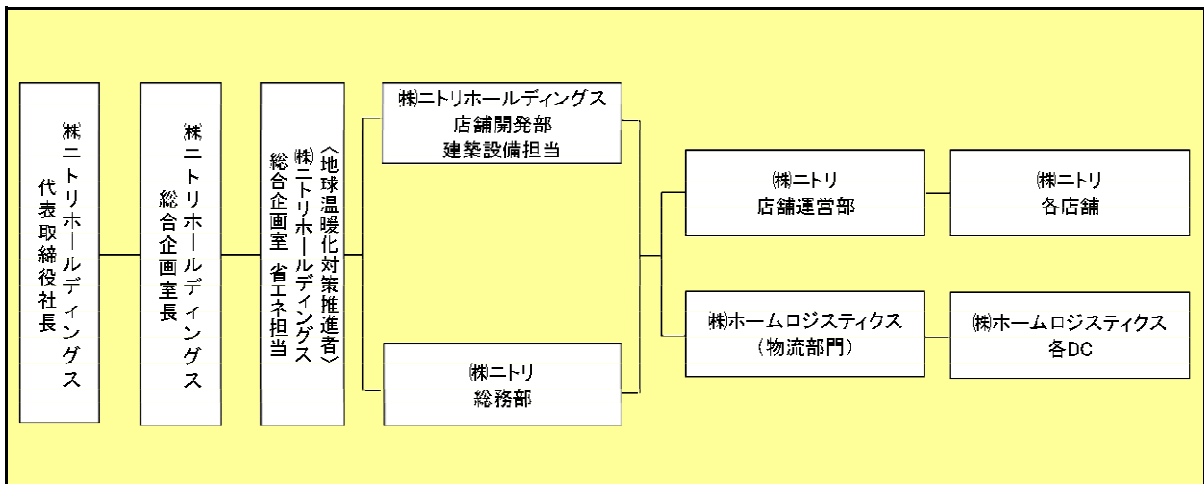
(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	
---------------	--

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

- 1 基本理念
持続的成長と環境負荷低減の両立を目指し、企業の社会的責任を果たします。
- 2 基本方針
基本理念に基づき、製造・物流・小売の各段階において環境負荷低減のための活動を実施します。
 - ①省エネにつながる商品を積極的に開発します。
 - ②工場、店舗等の事業所における環境負荷の低減に努めます。
 - ③効率的な物流システムの構築によりCO2排出量を低減します。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

	CO ₂ 換算（t-CO ₂ ）				
	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO ₂	5,828	4,956	5,658	6,286	6,350
その他ガス					
温室効果ガスの合計	5,828	4,956	5,658	6,286	6,350

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成	27	年度	事業者番号	2018	事業所番号	201800
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	ニトリ大宮バイパス店					前年度に おける 事業所数	22	
代表事業所所在地	市区町村	さいたま市西区						
	字・地番	宮前町1番1						
原油換算エネルギー 使用量 (kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)		
	使用量	3,701	3,109	3,569	3,967	4,002		
産業分類名(中分類)	その他の小売業							
分類番号(中分類)	60							
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	【事業内容】 家具・インテリア用品の企画・販売、新築住宅のコーディネート、海外輸入品・海外開発商品の販売事業						
	延床面積	346,275					m ²	
商標又は商号								

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計画期間	22	年度	~	26	年度
目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第一計画期間】 平成21年度の二酸化炭素排出量原単位42.8459に対し平成26年度末までに3%削減し41.5605にします。 【第二計画期間】 平成26年度の二酸化炭素排出量原単位47.02に対し平成31年度末までに2%削減し46.08にします。			
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	ニトリ大宮バイパス店	さいたま市西区宮前町1番1
2	ニトリ新座店	新座市野火止4丁目4-43
3	ニトリ草加店	草加市長栄町581番1
4	ニトリ久喜店	久喜市本町7丁目8-14
5	ニトリ鴻巣店	鴻巣市八幡田474
6	ニトリ武蔵浦和店	さいたま市南区別所7丁目3番1号
7	ニトリ鶴ヶ島店	鶴ヶ島市脚折町5丁目4-5
8	ニトリ入間店	入間市小谷田1丁目12-43
9	ニトリ桶川店	桶川市坂田細谷1550-1
10	ニトリ浦和中尾店	さいたま市緑区大字中尾851-2
11	ニトリ ららぽーと新三郷店	三郷市ららシティ3丁目1-1 ららぽーと新三郷内
12	デコホームララガーデン川口店	川口市宮町18-9 ララガーデン川口2階
13	関東DC	南埼玉郡白岡町大字篠津1276-4
14	所沢DC	入間郡三芳町大字藤久保1124-1
15	ニトリ川越店	川越市豊田町3丁目13番1
16	ニトリ熊谷店	熊谷市石原1丁目102番3
17	ベスタ本庄店	本庄市寿3丁目5番20号
18	デコホームソカふじみ野店	ふじみ野市うれし野2-10-87ショッピングセンターソカふじみ野2階
19	ニトリ岩槻店	さいたま市岩槻区原町14番1
20	デコホームセブントウンせんげん台店	越谷市千間台東2丁目707番地
21	三郷DC	三郷市番匠免2丁目243 DPL三郷 5階
22	デコホームモディ川越店	川越市脇田町4-2 川越モディ 2階
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

			計 画 期 間						
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	
エネルギー起源CO ₂	目標			5,233	5,770	5,711	5,601	5,545	
	実績	5,265	5,828	4,956	5,658	6,286	6,350		
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標							
		実績	0	0	0	0	0	0	
	メ タ ン	目標							
		実績	0	0	0	0	0	0	
	一 酸 化 二 窒 素	目標							
		実績	0	0	0	0	0	0	
	ハイドロフルオロカーボン	目標							
		実績	0	0	0	0	0	0	
	パーフルオロカーボン	目標							
		実績	0	0	0	0	0	0	
	六 ぶ っ 化 い お う	目標							
		実績	0	0	0	0	0	0	
	温室効果ガスの合計		目標		5,233	5,770	5,711	5,601	5,545
			実績	5,265	5,828	4,956	5,658	6,286	6,350

 (2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		目標		42.5888	42.3317	42.0747	41.8176	41.5605
		実績	42.8459	43.2865	38.2022	38.5475	40.2949	40.5932
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 (単位)	t/年						
	<input type="radio"/> 出荷額 (単位)	百万円/年						
	<input type="radio"/> 従業員数 (単位)	人						
	<input type="radio"/> 床面積 (単位)	m ²						
	<input checked="" type="radio"/> 稼働月数×稼働-DCの平均稼働率 位の定率(稼働)×稼働率	千m ²	123	135	130	147	156	156

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

燃料等使用量の単位換算(紙提出不要)
ア 都市ガスの圧力及び標準状態換算

事業所番号	201800
-------	--------

A事業所
ニトリ大宮バイパス店

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
都市ガス	13A:45MJ/m3	低圧用	m3	425,567	417,330	459,828	478,168
		中間圧以上用	m3				
	13A:43.12MJ/m3	低圧用	m3				
		中間圧以上用	m3				
	13A:46.04MJ/m3	低圧用	m3				
		中間圧以上用	m3				
	12A:41.86MJ/m3	低圧用	m3				
		中間圧以上用	m3				
	6A:29.30MJ/m3	低圧用	m3				
		中間圧以上用	m3				

イ 液化石油ガス(LPG)

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
プロパン・ブタン混合ガス (LPガス)	気化率 m ³ /kg	kg	0.458				
プロパン		m3	0.502				
ブタン		m3	0.355				
その他		m3	0.482				

ウ 都市ガス・LPG以外の気体燃料

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
その他可燃性 天然ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m3					
コークス炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m3					
高炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m3					
転炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m3					

エ 電気または熱の事業所外への供給

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
事業所外供給	電気	電気供給量	kWh				
		排出係数	t-CO ₂ / kWh				
	熱	熱供給量	MJ				
		排出係数	t-CO ₂ /GJ				

コージェネレーションシステムの使用(紙提出不要)

事業所番号	201800
-------	--------

A事業所

ア 高効率コージェネレーションシステムの利用

ニトリ大宮バイパス店

				実績値			
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
既存設備	5% ≤ 省エネ率 < 17.5%	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				
	17.5% ≤ 省エネ率	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				
新設設備	10% ≤ 省エネ率 < 17.5%	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				
	17.5% ≤ 省エネ率	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				

イ コージェネレーションシステムで発電した電気または製造した熱の事業所外への供給

		実績値				
		単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
コージェネに供給した都市ガス由来排出量	t-CO ₂					
事業所外供給に関する排出量	t-CO ₂					
コージェネ電気・熱の外部供給による削減量	t-CO ₂					

排出活動	区分	単位	使 用 量								単位当たり発熱量		排出係数	
			事業所内使用量				算定対象外使用量							
			23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)				
燃料	原油 (コンデンセートを除く)	L								38.2	GJ/kL	0.0187	t-C/GJ	
	原油のうちコンデンセート (NGL)	L								35.3	GJ/kL	0.0184	t-C/GJ	
	揮発油 (ガソリン)	L								34.6	GJ/kL	0.0183	t-C/GJ	
	ナフサ	L								33.6	GJ/kL	0.0182	t-C/GJ	
	灯油	L								36.7	GJ/kL	0.0185	t-C/GJ	
	軽油	L								37.7	GJ/kL	0.0187	t-C/GJ	
	A重油	L								39.1	GJ/kL	0.0189	t-C/GJ	
	B・C重油	L								41.9	GJ/kL	0.0195	t-C/GJ	
	石油アスファルト	kg								40.9	GJ/t	0.0208	t-C/GJ	
	石油コークス	kg								29.9	GJ/t	0.0254	t-C/GJ	
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	0	0	0	0				50.8	GJ/t	0.0161	t-C/GJ
		石油系炭化水素ガス	Nm3								44.9	GJ/ 千Nm3	0.0142	t-C/GJ
	可燃性 天然ガス	液化天然ガス (LNG)	kg								54.6	GJ/t	0.0135	t-C/GJ
		その他可燃性天然ガス	t	0	0	0	0				43.5	GJ/ 千Nm3	0.0139	t-C/GJ
	石炭	原料炭	kg								29.0	GJ/t	0.0245	t-C/GJ
		一般炭	kg								25.7	GJ/t	0.0247	t-C/GJ
		無煙炭	kg								26.9	GJ/t	0.0255	t-C/GJ
	石炭コークス	kg								29.4	GJ/t	0.0294	t-C/GJ	
	コールタール	kg								37.3	GJ/t	0.0209	t-C/GJ	
	コークス炉ガス	千Nm3	0	0	0	0				21.1	GJ/ 千Nm3	0.011	t-C/GJ	
	高炉ガス	千Nm3	0	0	0	0				3.41	GJ/ 千Nm3	0.0266	t-C/GJ	
転炉ガス	千Nm3	0	0	0	0				8.41	GJ/ 千Nm3	0.0384	t-C/GJ		
その他燃料	都市ガス ⁽⁸⁾	13A:45MJ/m3	千Nm3	411	403	444	462			45	GJ/ 千Nm3	0.0136	t-C/GJ	
		13A:43.12MJ/m3	千Nm3	0	0	0	0			43.12	GJ/ 千Nm3	0.0136	t-C/GJ	
		13A:46.04MJ/m3	千Nm3	0	0	0	0			46.04	GJ/ 千Nm3	0.0136	t-C/GJ	
		12A:41.86MJ/m3	千Nm3	0	0	0	0			41.86	GJ/ 千Nm3	0.0136	t-C/GJ	
		6A:29.30MJ/m3	千Nm3	0	0	0	0			29.30	GJ/ 千Nm3	0.0136	t-C/GJ	
											GJ/		t-C/GJ	
										GJ/		t-C/GJ		
熱	産業用蒸気	MJ								1.02	GJ/GJ	0.06	t-CO ₂ / GJ	
	産業用以外の蒸気	MJ								1.36	GJ/GJ	0.057	t-CO ₂ / GJ	
	温水	MJ								1.36	GJ/GJ	0.057	t-CO ₂ / GJ	
	冷水	MJ								1.36	GJ/GJ	0.057	t-CO ₂ / GJ	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱	MJ										0.057	t-CO ₂ / GJ	
電気	一般電業者	昼間 (8時 ~ 22時)	kWh							9.97	GJ/ 千kWh	0.386	t-CO ₂ / 千kWh	
	夜間 (22時 ~ 翌8時)		kWh							9.28	GJ/ 千kWh	0.386	t-CO ₂ / 千kWh	
	その他の買電	kWh	10451130.41	1231454.88	13705235.47	13783333.25				9.76	GJ/ 千kWh	0.386	t-CO ₂ / 千kWh	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気	kWh										0.386	t-CO ₂ / 千kWh	
再生可能エネルギーを自家消費した電	kWh										-0.193	t-CO ₂ / 千kWh		
外部供給	自ら生成した熱の供給	GJ						0	0	0	0			
	自ら生成した電力の供給	千kWh						0	0	0	0			
	ロージェネレーションシステムの利用	t-CO ₂												

活動の規模	区分	単位	使用量				排出係数		
			年度						
			23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)			
廃棄物の焼却 及び製品の製造への使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)	kg					2.92	t-CO ₂ /t	
	合成繊維	kg					2.29	t-CO ₂ /t	
	廃ゴムタイヤ	kg					1.77	t-CO ₂ /t	
	合成繊維及び廃コムタイヤ以外の廃プラスチック類(産業廃棄物に限る)	kg					2.55	t-CO ₂ /t	
	その他の廃プラスチック類	kg					2.69	t-CO ₂ /t	
	ごみ固形燃料(RPF)	kg					1.57	t-CO ₂ /t	
	ごみ固形燃料(RDF)	kg					0.759	t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油	L					2.63	t-CO ₂ /t
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)	L					2.62	t-CO ₂ /t
		ごみ固形燃料(RPF)	kg					1.57	t-CO ₂ /t
ごみ固形燃料(RDF)		kg					0.759	t-CO ₂ /t	
セメント製造	kg					0.51	t-CO ₂ /t		
生石灰の製造	石灰	kg					0.428	t-CO ₂ /t	
	ドロマイト	kg					0.449	t-CO ₂ /t	
ソーダ石灰ガス又は鉄鋼の製	石灰	kg					0.44	t-CO ₂ /t	
	ドロマイト	kg					0.471	t-CO ₂ /t	
ソーダ灰の製造	kg					1	t-CO ₂ /t		
ソーダ灰の使用	kg					0.415	t-CO ₂ /t		
アンモニアの製造	石炭(一般・輸入)	kg					2.4	t-CO ₂ /t	
	ナフサ	L					2.3	t-CO ₂ /t	
	オイルコークス	kg					3.3	t-CO ₂ /t	
	液化石油ガス(LPG)	kg					3	t-CO ₂ /t	
	液化天然ガス(LNG)	kg					2.7	t-CO ₂ /t	
	天然ガス(液化天然ガスを除く)	Nm ³					2.1	t-CO ₂ /千Nm ³	
	コークス炉ガス	Nm ³					0.85	t-CO ₂ /千Nm ³	
石油系炭化水素ガス	Nm ³					2.3	t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造	kg					2.3	t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	kg					0.76	t-CO ₂ /t	
	生石灰の還元	kg					1.1	t-CO ₂ /t	
エチレンの製造	kg					0.028	t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	kg					3.4	t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造	kg					0.005	t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	kg					1	t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	kg					1	t-CO ₂ /t		
							t-CO ₂ /t		
							t-CO ₂ /t		
							t-CO ₂ /t		
その他温室効果ガス	メタン	t-CH ₄					21	t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素	t-N ₂ O					310	t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン	t-						t-CO ₂ /t-	
		t-						t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン	t-						t-CO ₂ /t-	
		t-						t-CO ₂ /t-	
	六ふっ化いおう	t-SF ₆					23900	t-CO ₂ /t-SF ₆	

種類	使用量		単位当たり発熱量		熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量					
	①	②	③=①×②		④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12						
	数値	単位	単位		GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂					
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ					
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ					
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ					
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ					
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ					
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ					
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ					
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ					
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8			GJ/t	0.0161	t-C/GJ				
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9			GJ/千Nm ³	0.0142	t-C/GJ				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6			GJ/t	0.0135	t-C/GJ				
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5			GJ/千Nm ³	0.0139	t-C/GJ				
	石炭	原料炭		t	29			GJ/t	0.0245	t-C/GJ				
		一般炭		t	25.7			GJ/t	0.0247	t-C/GJ				
		無煙炭		t	26.9			GJ/t	0.0255	t-C/GJ				
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ					
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ					
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.0110	t-C/GJ					
高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³	0.0266	t-C/GJ								
転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³	0.0384	t-C/GJ								
その他燃料	都市ガス(※)	13A:45MJ/m ³	411	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	18,495	477	0.0136	t-C/GJ	922			
		13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ				
		13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ				
		12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ				
		6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ				
						GJ/				t-C/GJ				
					GJ/				t-C/GJ					
小計						18,495		477		922				
熱	産業用蒸気		GJ	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥				
	産業用以外の蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0258		0.060	t-CO ₂ /GJ				
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ				
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ				
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ						0.057	t-CO ₂ /GJ				
	小計													
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	102,002	0.0258	2,632	0.386	t-CO ₂ /FkWh				
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /FkWh				
	その他の買電		10,451	千kWh	9.76				GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /FkWh	4,034
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気		千kWh									0.386	t-CO ₂ /FkWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気		千kWh									-0.193	t-CO ₂ /FkWh	
	小計								102,002		2,632		4,034	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ							t-CO ₂ /GJ				
	自ら生成した電力の供給		千kWh							t-CO ₂ /FkWh				
	小計													
コージェネレーションシステムの利用														
合計					120,497	0.0258	3,109		4,956					

種類	使用量		単位当たり発熱量		熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量			
	①		②		③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12			
	数値	単位	単位		GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂			
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL			0.019	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.018	t-C/GJ			
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL			0.018	t-C/GJ			
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.018	t-C/GJ			
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.019	t-C/GJ			
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.019	t-C/GJ			
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.019	t-C/GJ			
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.020	t-C/GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.021	t-C/GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.025	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8	GJ/t			0.016	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6	GJ/t			0.014	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.025	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.025	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.026	t-C/GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.029	t-C/GJ			
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.021	t-C/GJ			
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ			
高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.027	t-C/GJ				
転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.038	t-C/GJ				
その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	403	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	18,135	468	0.014	t-C/GJ	904	
		13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
						GJ/			t-C/GJ			
					GJ/			t-C/GJ				
小計						18,135		468		904		
熱	産業用蒸気		GJ	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥		
	産業用以外の蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ				0.060	t-CO ₂ /GJ		
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ		
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ						0.057	t-CO ₂ /GJ		
	小計											
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /FkWh		
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /FkWh		
	その他の買電		12,315	千kWh	9.76	GJ/千kWh	120,194	0.0258	3,101	0.386	t-CO ₂ /FkWh	4,754
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気			千kWh						0.386	t-CO ₂ /FkWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気			千kWh						-0.193	t-CO ₂ /FkWh	
	小計						120,194		3,101		4,754	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ							t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh							t-CO ₂ /FkWh		
	小計											
コージェネレーションシステムの利用												
合計						138,329	0.0258	3,569		5,658		

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量					
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12						
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂					
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.019	t-C/GJ					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ					
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ					
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ					
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ					
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ					
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ					
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ					
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ					
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t	0.016	t-C/GJ				
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t	0.014	t-C/GJ				
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ				
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.025	t-C/GJ				
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.025	t-C/GJ				
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.026	t-C/GJ				
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.029	t-C/GJ					
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.021	t-C/GJ					
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ					
高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³	0.027	t-C/GJ							
転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³	0.038	t-C/GJ							
その他燃料	都市ガス(※)	13A:45MJ/m ³	444	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	19,980	515	0.014	t-C/GJ	996		
		13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ			
		13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ			
		12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ			
		6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ			
						GJ/				t-C/GJ			
					GJ/				t-C/GJ				
小計						19,980		515		996			
熱	産業用蒸気		GJ	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0258		0.060	t-CO ₂ /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ						0.057	t-CO ₂ /GJ			
	小計												
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	3,451	0.386	t-CO ₂ /FkWh				
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /FkWh				
	その他の買電		13,705	千kWh	9.76			GJ/千kWh	133,761		0.386	t-CO ₂ /FkWh	5,290
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気		千kWh								0.386	t-CO ₂ /FkWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気		千kWh								-0.193	t-CO ₂ /FkWh	
	小計							133,761		3,451		5,290	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ							t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh							t-CO ₂ /FkWh			
	小計												
コージェネレーションシステムの利用													
合計					153,741	0.0258	3,967		6,286				

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.019	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t	0.016	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t	0.014	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ			
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.025	t-C/GJ			
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.025	t-C/GJ			
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.026	t-C/GJ			
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.029	t-C/GJ				
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.021	t-C/GJ				
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ				
高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³	0.027	t-C/GJ						
転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³	0.038	t-C/GJ						
その他燃料	都市ガス(※)	13A:45MJ/m ³	462	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	20,790	536	0.014	t-C/GJ	1,037	
		13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
						GJ/				t-C/GJ		
					GJ/				t-C/GJ			
小計						20,790		536		1,037		
熱	産業用蒸気		GJ	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥		
	産業用以外の蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0258		0.060	t-CO ₂ /GJ		
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0258		0.057	t-CO ₂ /GJ		
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0258		0.057	t-CO ₂ /GJ		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ				0.0258		0.057	t-CO ₂ /GJ		
	小計											
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	3,466	0.386	t-CO ₂ /FkWh			
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /FkWh			
	その他の買電		13,764	千kWh	9.76			GJ/千kWh	134,337	0.386	t-CO ₂ /FkWh	5,313
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気		千kWh							0.386	t-CO ₂ /FkWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気		千kWh							-0.193	t-CO ₂ /FkWh	
	小計							134,337		3,466		5,313
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh						t-CO ₂ /FkWh			
	小計											
コージェネレーションシステムの利用												
合計					155,127	0.0258	4,002		6,350			

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
		廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造	t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造	t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用	t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³			
シリコンカーバイドの製造	t	2.3 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドの製造	石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	石灰の還元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造	t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造	t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	t	1 t-CO ₂ /t			
		t-CO ₂ /			
		t-CO ₂ /			
		t-CO ₂ /			
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン	t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄		
	一酸化二窒素	t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O		
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化イオウ	t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
小計					
合計					

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
		廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造	t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造	t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用	t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³			
シリコンカーバイドの製造	t	2.3 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドの製造	石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	石灰の還元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造	t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造	t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	t	1 t-CO ₂ /t			
		t-CO ₂ /			
		t-CO ₂ /			
		t-CO ₂ /			
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン	t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄		
	一酸化二窒素	t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O		
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
小計					
合計					

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
		廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
		セメント製造	t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
		ソーダ灰の製造	t	1 t-CO ₂ /t	
		ソーダ灰の使用	t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
	石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³		
	シリコンカーバイドの製造	t	2.3 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
	エチレンの製造	t	0.028 t-CO ₂ /t		
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t	3.4 t-CO ₂ /t		
	電気炉を使用した粗鋼の製造	t	0.005 t-CO ₂ /t		
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	t	1 t-CO ₂ /t		
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	t	1 t-CO ₂ /t		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
	小計				
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
		メタン	t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
		一酸化二窒素	t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t	
			t	t-CO ₂ /t	
			t	t-CO ₂ /t	
	パーフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t	
			t	t-CO ₂ /t	
		t	t-CO ₂ /t		
	六フッ化イオウ	t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
		廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造	t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造	t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用	t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
石油コークス		t	3.3 t-CO ₂ /t		
液化石油ガス（LPG）		t	3 t-CO ₂ /t		
液化天然ガス（LNG）		t	2.7 t-CO ₂ /t		
天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³			
シリコンカーバイドの製造	t	2.3 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドの製造	石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	石灰の還元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造	t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造	t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	t	1 t-CO ₂ /t			
		t-CO ₂ /			
		t-CO ₂ /			
		t-CO ₂ /			
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
		t-	t-CO ₂ /t-		
六フッ化イオウ		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
小計					
合計					

事業所番号	201800
-------	--------

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所
ニトリ大宮バイパス店

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネルギー教育の実施	平成22年度	
2	130100	空調設備・換気設備	13_空調設備の運転管理	設定温度の適正化における既存ルールの徹底。	平成22年度～26年度	継続実施
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	LEDスポットライトの採用	平成21年度	店舗へ導入済み
4	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	客数に応じたパソコン起動台数の適正化を実施	平成22～23年度	
5	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	エスカレーターに人感センサー運転を採用	平成21年度～	新規店舗へ随時導入
6	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	天井照明の調光と間引きによる節電	平成23年度～26年度	継続実施
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	政府要請の節電対策として、屋上看板の消灯	平成23年度	
8	130100	空調設備・換気設備	13_空調設備の運転管理	夏季の空調温度を28℃に設定	平成23年度～26年度	継続実施
9	120300	熱源設備・熱搬送設備	12_運転管理及び効率管理	政府要請の節電対策として、関東DCの商品仕分け用ソーターの間欠運転	平成23年度	
10	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	店舗天井照明をHF蛍光管からLEDへ切り替え	平成25年度～26年度	継続実施
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1) 温室効果ガス排出量の推移

ニトリ大宮バイパス店

CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基 準 年 度														
燃料等使用量の原油換算量 (kL)									3,395	3,701	3,109	3,569	3,967	4,002
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂									5,265	5,828	4,956	5,658	6,286	6,350
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂										0	0	0	0
	メ タ ン										0	0	0	0
	一 酸 化 二 窒 素										0	0	0	0
	ハイドロフルオロカーボン										0	0	0	0
	パーフルオロカーボン										0	0	0	0
	六 ぶ っ 化 い お う										0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	0	0	5,265	5,828	4,956	5,658	6,286	6,350

(2) 温室効果ガス排出量原単位 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基 準 年 度										○					
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位										42.8459	43.2865	38.2022	38.5475	40.2949	40.5932
活 動 規 模 の 指 標	○	生産量 (単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	出荷額 (単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	従業員数 (単位)	人							0	0	0	0	0	0
	○	床面積 (単位)	m ²							0	0	0	0	0	0
	●	(稼働月数と店舗・DCの平均原単位の差を調整した延べ床面積)		千m ²							122.8821	134.6379	129.7308431	146.7799065	156

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

A事業所
ニトリ大宮バイパス店

自由記述欄

【事業所の増減について】

平成26年度は、以下の事業所が新たに開設された。

- ・デコホームモディ川越店(6月20日オープン)